

各 位

会 社 名 株式会社タチエス
 代表者名 代表取締役社長 山本 雄一郎
 (コード番号 7239 東証プライム)
 問合せ先 経営企画室(TEL 0428-33-1138)

人事異動及び組織の一部変更についてのお知らせ

当社は、2025年4月1日付の人事異動及び組織の一部変更につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 人事異動

1-1. 取締役兼執行役員の変動

新 職	旧 職	継続職	氏 名
▽情報システム部担当	(グローバル人財開発部、経理部、財務部担当)	代表取締役、Chief Corporate Officer、CFO、執行役員、人財開発促進部担当、コンプライアンス担当、内部統制統括責任者	小松 篤司
▽CMO領域海外事業担当、デジタル推進室担当	(生産戦略企画部、生産総括部、モノづくり推進部担当)	取締役、Chief Manufacturing Officer、執行役員	伊藤 孝男
	(Chief Business Officer、執行役員、ビジネス戦略総括部、三菱ビジネスユニット事業部、ASEAN地域事業統括担当)	取締役	大河内 勉

1-2. 執行役員の変動

新 職	旧 職	継続職	氏 名
▽北米事業本社長、タチエス エンジニアリング U.S.A社長、ティーエフメタル アメリカ コーポレーション社長	(日産ビジネスユニット事業部、欧州地域事業統括担当)	執行役員 北米・中南米地域事業統括担当	ゴンザロ・エスパルサ
▽ホンダ・トヨタ・日野ビジネス、ビジネス戦略総括部担当	(ホンダビジネスユニット事業部、トヨタ・日野ビジネスユニット事業部担当)	執行役員	井川 秀秋
▽開発総括部、グローバル開発部担当	(第一開発総括部、第二開発総括部、フロントフレーム部担当)	執行役員 製品開発グループ ESG推進室、プログラムマネジメント部、試作実験部、第一製品設計部、第三製品設計部、TTC-A担当	久保 芳明
▽Chief Business Officer、日産・三菱ビジネス、ASEAN地域事業統括担当	(北米事業本社長、タチエス エンジニアリング U.S.A社長、テクナトリム社長、ティーエフメタル アメリカ コーポレーション社長)	執行役員	比留間 雅人
▽生産技術総括管理部担当	(生産技術企画部、工機部、設備管理部担当)	執行役員 組立生産技術部、軟材生産技術部、フレーム生産技術部担当	長谷川 直樹
▽製品技術開発部担当	(ウレタン技術部、シート計画部、先進開発技術部担当)	執行役員 製品開発グループ 原価企画部、トリムカバー技術部、第二製品設計部担当	関田 功
▽執行役員、日本事業、モノづくり推進部、安全衛生推進部担当	(モノづくり推進部長)		秋山 尚文
▽執行役員、調達グループ長、調達管理部、戦略調達部、物流部担当	(三菱圏事業部長)		太田 洋平
▽執行役員、グローバル事業管理グループ長、経理部、財務企画部、法務部担当	(事業総括部長)		山内 勇人
▽顧問	(執行役員、中国事業本社長、泰極愛思(中国)投資有限公司総経理)		田村 一美
▽顧問	(執行役員、グローバル事業管理グループ長、事業総括部、情報システム部、法務部、総務部、TF-METAL担当)	TF-METAL取締役	原嶋 朝秋
▽調達グループ グローバル調達GM	(執行役員、調達グループ長、調達企画部、調達部、調達コスト推進部、物流部担当)		森本 裕之

2. 組織変更

現中期経営計画Transformative Value Evolution (TVE) Wave2フェーズに向け、組織の継続性と変革の両方を進める。

具体的には、組織営業力(新規ビジネス受注力)の強化、TPW(TACHI-S Production Way)モノづくり力の構築とグローバル展開&浸透、先行技術開発とコスト競争力の探究と実行を推進し、3つのシンカ(深化・進化・新化)による成長戦略の実現と土台強化に向けて、2025年度組織変更・人事異動を以下の様に実施する。

1) 執行役員体制

役員ポジションのフラット化(EMO制)を継続し、迅速な経営の意志決定と実行を促進し、コミュニケーションと経営の更なるスピードアップを図る。

また、本社の各機能が各地域事業に対し機能軸で横串を刺す「グループ本社」としての役割を強化しグループ一体経営の効率性を高めるためにCxO制を継続し執行役員を配置する。(Strategy、Business、Technology、Manufacturing、Corporate)

2) CxO体制

グループ一体経営変革(親会社としての本社からグループ本社への脱却)に向けCxO制の実効性を高めていくため、CxO領域は、戦略(Strategy)、ビジネス(Business)、技術(Technology)、製造(Manufacturing)、コーポレート(Corporate)の5領域を継続する。また、5領域の戦略をグローバルで浸透・実行する横串連携を促進させるため、各CxO下のCxO OfficeとリージョンのCo-CxOの設置を継続する。

3) 地域事業本社制

役割と権限を明確にし、よりスピーディーな運営体制を推進する目的から、地域事業本社制を継続する(日本、北米、中南米、中国)。アセアン、インドに関しては現状の規模を鑑み、地域事業本社としての位置付けではないが、タイと本社からそれらの地域を管轄することとし、各地域の統括担当として本社の役員を任命する。なお、日本は事業部社長制(得意先圏別管理)を継続し、目標営業利益達成及び得意先別の事業継続体制(ビジネスモデル並びに組織体制)強化のための活動全体をマネジメントする。

4) タチエスグループ経営の更なる促進

タチエスグループ全体の経営効率を高める目的で、関係会社の役員・職制を兼任担当としてタチエスの主要な部門へ継続配置する。また、タチエス本体の役員・職制も一部関係会社の組織との兼任を継続する。なお、関係会社各社は、各地域事業本社および地域経営会議の管轄とする。

5) タチエス経営における新人事制度の導入

競争力のある賃金と雇用の安定を可能にする体系と、「働きがい」を向上させる仕組みの構築を図るべく、管理職に於いては2024年度よりジョブ型雇用制度へ移行した。タチエス流ジョブ型制度で次に目指すのは、「部長層のポジション数の整頓」、「管理職のプレイングマネージャーからの脱却」を行い、併せて、一般職の人事制度を改定し、「本来の職位に適合したレベルの業務を行ってもらう事」を実行する。

具体的には、部長ポジションを整頓し役割と責任をより明確にし、部長ポジション数を製造業平均並みとする。また、部長以外のポジションは「シニアダイレクター(SD)」とし、職位と処遇を変更し、各業務・機能の専門家としての立場から、仕事のアウトプットを最大化させるため、ライン部長とは一線を画し、部下マネジメントは行わないポジション／職位とする。

また、高度な専門知識を持ち合わせ、そのスキルにおける成果は学会へ報告出来るレベルに達し、企業価値(競争力)の向上に貢献でき余人を持って代えがたい人財をエキスパート職として任命する。

これらにより、全従業員の働き方の自己選択の機会をつくり、「働きがい」と企業内競争力の向上の実現を図る。2025年度の組織体制に於いては、これらを念頭に、現行組織を見直し、TVE Wave2飛躍に向けて準備を行う。

6) 部の新設・移管

< Strategy領域 >

- ① デジタル推進室を新設する

< Business領域 >

- ① 日産ビジネスユニット事業部、ホンダビジネスユニット事業部の機能を第一ビジネスユニット事業部(日産・ホンダ)へ統合する
- ② 三菱ビジネスユニット事業部、トヨタ・日野ビジネスユニット事業部の機能を第二ビジネスユニット事業部(三菱・トヨタ・日野)へ統合する

< Technology領域 >

- ① 第一開発総括部・第二開発総括部の機能を開発総括部へ統合する
- ② シート計画部、先進開発技術部の機能を製品技術開発部へ統合する
- ③ グローバル開発部を新設する
- ④ フロントフレーム部の機能を第一製品設計部へ移管する
- ⑤ 調達企画部、調達部、調達コスト推進部の機能を統合し、調達管理部、戦略調達部へ移管する

< Manufacturing領域 >

- ① 生産技術企画部、設備管理部の機能を統合し、生産技術総括管理部へ統合する
- ② モノづくり推進部の一部機能を安全衛生推進部へ移管する

< Corporate領域 >

- ① 財務部、経理部・事業総括部の機能を経理部・財務企画部へ統合する
- ② 総務部の機能を法務部へ統合する
- ③ グローバル人財開発部の機能を人財開発促進部へ統合する

< 日本事業 >

- ① 日産圏事業部、ホンダ圏事業部の機能を第一事業部(日産・ホンダ)へ統合する。
- ② 三菱圏事業部、トヨタ・日野圏事業部の機能を第二事業部(三菱・トヨタ・日野)へ統合する。